

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第3回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成26年7月17日（木）午後6時～8時
開 催 場 所	中部地区会館403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：渡辺龍也、瀬口圭志、中村政義、北口良夫、本間由美子、前田啓子、比留間毅浩、山田行雄 欠席者：鴻田臣代、高橋茂明 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	報告事項 武蔵村山市協働事業提案制度の提案事業の審査要領について
議 題	議題1 協働事業提案制度提案事業の第一次審査について 議題2 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1 協働事業提案制度提案事業の一次審査について 全ての提案事業を第二次審査対象事業として選定する。 議題2 その他 1 第二次審査での時間配分について 2 次回以降の会議の開催日程 第4回会議は9月22日（月）、第5回会議は9月25日（木）、第6回会議は9月29日（月）に開催する。場所については、いずれも市役所401大集会室で開催する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発信者） □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局	議題1 協働事業提案制度提案事業の第一次審査について （事業番号26-1について） ○ 「カフェおとなりさん」とは、団体所有の施設か ● 団体所有の施設である。 ○ 出前講座の開催場所を、神明・伊奈平・三ツ木の三か所にした意図は。 ○ この団体の活動拠点は大南であり、大南へ行きにくい地域を選定したのではないか。 ○ 類似した事業を市が実施しているのではないか。 ● 委託により実施している。 ○ 対象は。 ● 65歳以上のようなようである。 □ 交通の便が悪い地域で行うという点は、意義がある。その他の確認事項については、第二次審査で確認してもらいたい。 （事業番号26-2について） ○ ムラッパーというのは。 ● 団体が考案したキャラクターである。 ○ 市公認のキャラクターなのか。 ● 市公認ではない。 ○ 今後、他の団体もキャラクターを考案し、同内容の提案をしてくる

可能性もあるのではないか。

- 市が非公認のキャラクターを使った事業に、市が補助金を出すというのはどうなのか。
- キャラクターは団体が事業を行う上での手段の一つであり、市の公認であるか非公認であるかは、問題ないのではないか。
- デエダラまつり等のイベントには参加しないのか。
- 市外に対するPRを考えているのではないか。
- 事業の目的に、地域ブランド認証商品の販売拡大とあるが、これはどのようなことか。
- 団体がイベントに参加する際に、地域ブランド認証商品の店にも同行してもらい、現地で出店・販売することで、武蔵村山市をPRしようという意図である。
- 補助金を出すことで、市の公認キャラクターというわけではないことを、明確にする必要はある。その他の確認事項については、第二次審査で確認してもらいたい。

(事業番号26-3について)

- 残堀・伊奈平地区児童館をモデルケースにするとあるが、今年度実施の事業でも同様のことを謳っていた。
- 2年目の事業なので、1年目の事業成果を踏まえて拡大・発展した企画が好ましい。
- 子ども家庭支援センターとは。
- 市民総合センターの2階にある、子育て支援課の指定管理で運営している施設である。
- 実施の手法に児童館事業と子育て支援事業とあるが、区別がよくわからない。
- 団体としても明確な区別ができていないのではないか。その他の確認事項については、第二次審査で確認してもらいたい。

(事業番号26-4について)

- 昨年度の企画との違いは。
- 昨年度は、甲冑作りを通じて歴史を学び、武蔵村山市への愛着や理解を深めるという主旨であった。今年度は、作成した甲冑を活用して市内のイベントに参加し、地域おこしをするのが主旨と聞いている。
- 以前は参加者負担があった。
- 作成した後の保管場所が問題である。
- 予算書の割合を見ると、甲冑作りがメインであると感じる。作った甲冑が、事業後に個人の持ち物にならないようにする必要がある。その他の確認事項については、第二次審査で確認してもらいたい。

(事業番号26-5について)

- 観光ツアーをNPO等が独自に行うことは禁止されているので、必ず業者に委託しなければならない。
- 周遊ポイントに、寺や神社等、歴史を学べる施設をもっと取り入れるべきではないか。
- 市民観光ガイドの育成とあるが、どのような形で育成するのが明

示されていない。

- ツアー参加者が、いずれは自分がガイドできるように、理解や知識を深めるといふ主旨ではないだろうか。ただツアーに参加するだけでは意味がない。
- マイクロバスで市内を6時間もかけて回る必要があるのか。散策の方が適していると思う。
- 誰を対象に、何を目的に事業を行うのかよくわからない。
- 市の役割として、運行車両の提供とあるが、これは何のための車両だろうか。マイクロバス代は確保しているようだが。
- その他の確認事項については、第二次審査で確認してもらいたい。

(事業番号26-6について)

- 機械を使った植栽の場所の確保とあるが、重機を使用して整地する等のことか。
- 花や木を植える際に大きな穴を掘ったりする必要がある場合のことではないかと思われる。
- 講師、アドバイザー費は12ヶ月分計上されているが、スケジュールでは8月と12月は事業が行われなくなっている。
- 講習費を収入に計上しているが、内容がよくわからない。その他の確認事項については、第二次審査で確認してもらいたい。

(事業番号26-7について)

- 26年度は4校で実施し、27年度は2校で実施となっている。2年目に実施校が減るといふのは疑問だ。
- 備品としてハンドボール専用簡易ゴールの金額が92,880円となっているが、規定上の問題はないのか。
- 備品は原則として1万円以上10万円未満のもので、補助対象経費の30%未満と規定しているので問題ない。
- 事業終了後、団体の所有物になるのか。
- そのとおり。
- 実施回数に対し、講師謝礼が非常に高額に感じる。
- 事業を実施した学校は、次年度はどうなるのか。やりっぱなしにならないようにする必要がある。
- 市内中学校に一つしかハンドボール部がないので、中学生向けの普及事業を行った方がよいのではないかと思う。その他の確認事項については、第二次審査で確認してもらいたい。

議題2 その他

(第二次審査での時間配分について)

- プレゼンテーションは三日間を予定しており、時間配分はプレゼンテーションが20分、質疑応答が15分を予定している。
- 質疑応答が15分というのは短いのではないか。プレゼンテーションが15分、質疑応答が30分としてはどうか。

-異議なし-

	<p>● 質疑応答の時間内に、協働担当課にも意見を聞く時間を設けたいと思う。</p> <p>(次回以降の会議の開催日程)</p> <p>□ 第4回会議は9月22日(月)、第5回会議は9月25日(木)、第6回会議は9月29日(月)に開催する。場所については、いずれも市役所401大集会室で開催する。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	傍聴者： _____ 0 人
-------------	---	----------------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： _____)
--------------	---

庶務担当課	生活環境部 協働推進課 (内線： 242)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)